

総合型地域スポーツクラブの参加動機についての研究

山本 浩己 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)
指導教員 金森 雅夫

キーワード：総合型地域スポーツクラブ,参加動機

1. 緒言

総合型地域スポーツクラブとは、地域において子どもから高齢者までが気軽に参加出来るスポーツ活動の拠点となる場所である。現在、クラブにおいてスポーツ指導者、スポーツ施設などスポーツ活動の基盤となる環境が整備されておらず、地域住民自らスポーツ活動を主体的に創り出す意識がなく、ボランティア精神でスポーツクラブを運営する意義について十分に理解されていない現状にある。

そこで、本研究は既に総合型地域スポーツクラブを運営している地域に注目し、その地域での総合型地域スポーツクラブの認識とそのクラブ会員が参加に至った動機を調べ、今後、総合型地域スポーツクラブが継続的かつ安定的に運営するにはどのような課題があるのかを明らかにしようとした。

2. 研究方法

本研究の調査対象は K 中学校地区の住民 (K クラブ非会員) と K クラブの会員を対象に調査紙を手渡しにて行った。

3. 結果と考察

図 1 より、会員、非会員ともに「3.友人がいれば」「7.時間があれば」「8.休暇の増加」が高い数値を示した。「7.時間があれば」「8.休暇の増加」に関しては個人的理由が大きいので省く、「3.友人がいれば」に関しては、だれでも気軽に参加できる環境を作ることが重要になってくると考えられる。さらに非会員では「1.クラ

ブの情報が詳しくわかれば」「6.活動施設があれば」において会員よりも高い数値を示したので、総合型地域スポーツクラブの会員を増やすには総合型地域スポーツクラブの存在を知ってもらう必要があると考えられる。

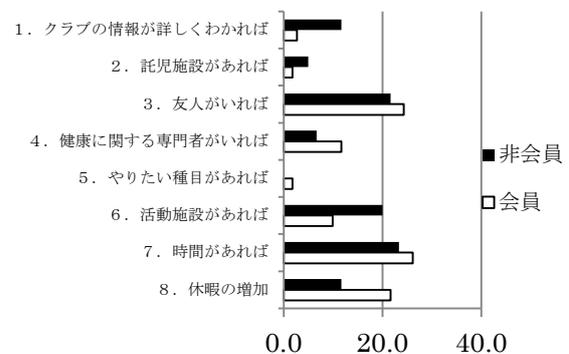


図 1 運動・スポーツの阻害要素

4. まとめ

総合型地域スポーツクラブの会員を増やすには総合型地域スポーツクラブの存在を知ってもらう必要がある。地域全体で、運動・スポーツというものを生活の一部にしていく必要があると考える。そのために地域での広報誌以外の広報活動も検討しなければいけない。また、だれでも気軽に参加できる環境を作ることが重要になってくると考えられる。

5. 参考文献

1. 堺賢治 (2001) 「40 歳代男性のスポーツ活動に関する研究—地域スポーツを中心にして—」愛媛大学教育学部紀要第 I 部教育科学第 47 巻第 2 号 pp.133-143